

武井 翠さん(上田市) 千曲バスに21歳女性が運転手で採用へ 7月からバス運転「社内教習」始まる!

路線バスの行き先表示に「教習中」と表示されたバスが走っている。運転しているのは今年、千曲バス(株)へ入社したばかりの武井翠さん(21、上田市)だ。高校卒業後、製造業に就職した武井さんは、その後「違う仕事してみたい」と思った。そんな時、千曲バスの求人が目にとまったという。

運転に興味があったという武井さんだが、高校卒業時点で取得したのは普通自動車免許でオートマ限定免許。千曲バスの求人応募条件に大型二種免許の条件はなく、同免許取得には費用もかかるため、「もし大型二種免許が採用条件だったら、応募はしなかった」という。そんな武井さんは求人に応募し、採用後に群馬県内の教習所で大型二種免許取得のため約20日間、

合宿での教習を経て学科試験に合格。同免許を取得し、社内での座学研修を経て7月1日から、先輩社員の教官とともに実際にバスを運転する社内教習が始まった。まずは千曲バスの上田営業所内を、ゆっくりとした速度で運転。ときには教官がパイロンを設置し、その間を抜けていく。バスの全長は長いので後輪が接触しないようにし



道路での研修の様子



真剣な表情でバスを運転する武井さん

なくてはならないため、難易度は高い。短時間運転するとバスを止め、教官と修正すべき点について確認した。ときには教官がノートに道路を描いてミニカーのバスを動かして、どのようにつまめるべきかなどについて伝える。武井さんはポケットからメモ帳を取り出し、教官の教えを熱心に書き留めていた。繰り返し営業所内を運転した後、武井さんの運転するバスは乗客が乗っていない「空車」の状態である。武井さんは、道路

一般の車も走行。歩行者や自転車も走行している。配慮しながらバスを走らせる。交差点では長いバスの車体に気を配りながら、ハンドル操作を行う。そして営業所に戻り、教官から修正すべき点について教わる。そんなこ

とを繰り返し、徐々に運転する時間を長くしていく内容だ。武井さんは今後、実際の路線で「空車」での運転を行う。その後、お客さんを乗せる「実車」での運転研修を経て、早ければ7月中にも「ワンマ

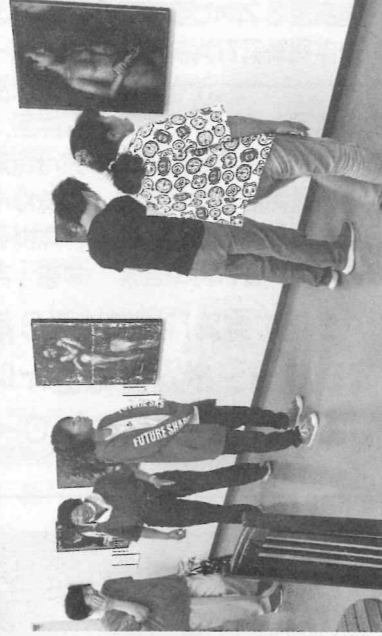
ン」運転での乗務に入るといふ。習熟度により、高速バスや貸し切りバスの業務も携わる。 「お客さんに安心して乗ってもらえるような運転手を目指したい」という武井さん。上田営業

上田市 まるこ福祉会「無言館レプリカ展」始まる オープニング対談『平和と福祉を考える』 31日まで

上田市長瀬の社会福祉法人まるこ福祉会(柳澤正敏理事長)きらり市民画学生慰霊美術館・無言館ギャラリーで8日、戦没館に飾られている絵のレ



対談する柳澤理事長(写真右)と窪島館主



無言館展示作品のレプリカが並ぶ



日高典典さんの作品「裸婦」

プリカ展が始まった。31日(木)まで。無言館は、戦時中に画家になることを夢見て生きて帰って絵を描きたいと、叫びながら死んでいった画学生らが遺した作品と遺品の数々を未永く保存・展示しようと平成9年、信濃ツツサン館館主・窪島誠一郎さんが分館として開館したもの。同法人は平成30年から毎年、8月の原爆の日、終戦の日には「平和の心バトシリレー」として高

校生・大学生らが中心となり「平和の心」について語り続けている。昨年、無言館の窪島館主が出演したこと、今回のレプリカ貸し出しの話になったという。無言館の絵は戦後80年が経ち、移動に耐えられないことから高品質のレプリカが作られている。オープニングセミナーで窪島館主(83)と柳澤理事長(75)が、「平和と福祉を考える」をテーマ

対談。窪島さんは無言館の内容を紹介し、「約80年前に描かれた絵で痛みが激しい。レプリカといえども品質は高く、実際の作品に見劣りしない」とレプリカの品質の高さを強調。20代の放蕩な生活ぶりや「唯一救ってくれたのが絵だった」と、信濃ツツサン館や無言館開館の苦労など、冗談を交えながらおもしろおかしく語る。そして「無言館をやっているのだから、こうして今あることに對して疑問を感じている」と自問自答する。

「反戦平和のためなく『窪島誠一郎ここにあり』と示したかった」と語り、「画学生たちは反戦平和の思いで描いていたのではない。敬愛の思いで自分の身近な人やものを描いていたとし、心をつくらない努力が必

つかえるツール MT Mother Tool

監視カメラと計測器のメーカーです。

株式会社 マザーツール 長野県上田市御所291
〒387-0118 電話:0268-25-2332

検索

マザーツール

介護施設未経験の方も大丈夫! 安心して働ける環境が敬老園にはあります。

看護師募集!

新規事業 展開に伴い 広く

介護職 同時 募集中!

社団法人 敬老園

【本部】〒386-0027 上田市常盤城2256-1
TEL:0268-28-1170(代) FAX:0268-28-1172

●ご購読申し込みは上田・東郷堂(24)7200、丸子・佐藤新聞店(42)2223、東御・信毎販売センター(62)0118、読売上田中央(25)1639へ